

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ガーデンキッズ セルク		公表日 令和7年2月25日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		・必要に応じて、お子さまが使用している視覚支援のツールや教材(食具、絵カード等)を訪問先に提示しています。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・配置基準を満たし、運営を行っています。必要に応じて、法人内の教育相談員にも同行してもらっています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・訪問前後のミーティングやチーム会議、ケース会議を設け、職員間で業務内容の検討や利用者状況の把握を行っています。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・本アンケートを通して把握した内容については、事業所内でも情報共有しています。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員との面談やチーム会議などで、聞き取りや意見交換を行い、業務改善に努めています。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・職員会議を通しての学びや外部で開催される専門的な研修等へ積極的に参加しています。	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・複数の職員でアセスメントを行い、お子さまの変化や成長を個別支援計画に反映させています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・事前に訪問先の担当者とお子さまの様子について情報共有を行い、園や学校の意向を確認し、個別支援計画を作成しています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・訪問支援前後のミーティングで個別支援計画の目標や支援内容を伝達し、職員間で連携した支援を行うよう努めています。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・新版K式発達検査2020、PVT-R絵画語い発達検査を保護者承諾の上で実施しています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・保育所等訪問支援計画作成時には、ガイドラインの内容についても確認しながら作成しています。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・訪問前に、支援計画を基に、どの部分を重点的に見学するかなど細かな打ち合わせを行ってから保育所等訪問支援を実施しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・ミーティング時に、当日のお子さまの様子や訪問先の先生方の困り感などをチーム職員と共有し、お子さまの実態把握に努めています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			・今後も訪問先の理念や支援手法を尊重しながら、実際の支援場面で活かしていただけるような助言や説明ができるように職員の資質向上に努めます。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・個別支援計画に沿った支援の記録や、細かな変化等を記録し、支援の検証や改善に繋がっています。		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に1回のモニタリングに加え、保護者から訪問支援の依頼があった際に関係者へ聞き取りを行っています。その内容を基に、更新や支援内容など見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者やチーフ、クラス担当が参加しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保健センターでの総合発達相談会への参加や公開療育を実施して情報の共有をしています。また、関係機関研修会やきょうだいいち支援会の実施を行っています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学の際は、移行支援シートを作成し、保護者の了承を得た上で小学校へ情報提供を行っています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・研修については毎月の園内研修や福祉全般の分野に渡って幅広く研修を行っています。 ・職員が自己研鑽に励めるよう、オンラインで受講できるe-learning（スペシャルラーニング）を導入しています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・保護者に引き継ぎや保育所等訪問支援の報告を行う際は、おさまの課題面だけでなく、できている部分や支援内容なども伝え、共通理解が図れるようにしています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・マルヤガーデンズと連携し、7月に子育て支援講座（単日）、9月～10月にペアレント・プログラム（全6回）を実施しています。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時に運営規定、施設概要や利用料等についてご説明しています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・保育所等訪問支援の目的や趣旨について、その都度説明を行っています。特に初めて訪問させていただく園については、ていねいに説明するよう心掛けています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者やお子さんから聞き取りを行ったり、サービス等利用計画を確認したりしながら、おさまの強みや希望・課題、保護者の要望等を照らし合わせながら計画を作成しています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画の作成、更新時に保護者へ保育所等訪問支援計画を示しながら、支援内容について説明を行い、同意を得ています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的に個別相談の機会を設け、悩みや相談に関して助言やアドバイス等を行っています。個別相談期間以外でも、随時対応しています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・年2回の合同保護者会を実施しています。 ・保護者同士のつながりが広がるよう、セルク茶話会を2回実施しています。今後も定期的に実施ができるよう計画をしています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情については第三者委員会を設置しており、事業所と保護者でサービスの契約を行う際に説明を行っています。また、苦情の内容および対応等については即時返答を行い、専用の用紙に記録として残り第三者委員会へ報告しています。	

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月、おたよりにて活動内容や行事予定をお知らせしています。 ・連絡アプリ（コドモン）を活用して情報を迅速に保護者へお知らせできるよう努めています。また、ホームページにて活動の様子も掲載をしています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・写真掲載等、個人情報の公開については、保護者へ同意書による了承を得ています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・お子さまへのコミュニケーションの手段としては、発達段階に合わせて写真や絵カードなどの視覚支援ツールを用いています。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・訪問先からの相談等については、直接の訪問や電話連絡にて、情報共有を行っています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・保育所等訪問支援の実施後、訪問先と情報共有を行っています。また、支援方法等について説明し、訪問先と共通理解が図れるよう努めています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・保育所等訪問支援の実施後、保護者へお子さんの様子や園の先生方とやりとりした内容を説明しています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・訪問先からの相談や質問等については迅速に対応するように努めています。また、先生方との信頼関係構築に努め、実際の支援場面で活かしていただけるような助言や説明に努めています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・午前、午後のクラスごとに、毎月1回の避難訓練を実施しています。年間計画表を作成し、月ごとに火災、地震、噴火、津波、防犯の種別を決め実施しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・法人内で起こった事象を共有することで、再発防止とヒヤリハットに対する意識の向上に努めています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・毎年、全職員を対象に人権侵害防止に関する書類への署名、園内研修・外部研修への積極的な参加等を行い、虐待に向けた意識向上の取り組みを行っています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・月に1回、身体拘束廃止委員会を設置し協議しています。	